



No. 46

3/31.2007

Moriya International Friendship Association

MIFA NEWS

守谷市国際交流協会広報委員会発行

事務局 住所：守谷市大柏950-1  
電話：0297-45-1111

URL：http://www.fureai.or.jp/mifa

## JICA理事長表彰を受賞



緒方貞子JICA理事長から表彰状を授与される小川会長

10月2日、守谷市国際交流協会(MIFA)が、独立行政法人国際協力機構(JICA)から第3回JICA理事長表彰を受賞しました。

この表彰は、国際協力機構業務の推進に長年、支援・協力した個人・団体に贈られるもので、団体では、MIFAのほか、札幌市環境局、国立大学法人東京医科歯科大学、中部電力株式会社、大阪市消防本部、海上保安庁第五管区海上保安本部、世界青年徳山友の会、北九州水道局、社団法人沖縄県看護協会が受賞しています。

MIFAは、MIFAフェスタにJICA筑波の研修員を招待し市民との交流を図ったり、年に1回、研修員のホームステイ

を受け入れ、また、平成15年からは、JICA事業の「草の根技術協力(地域提案型)研修」としてラオスの教育関係者を年に2人(3年間に6人)招聘し、長期ステイを行うなどJICAとの連携を深めてきました。

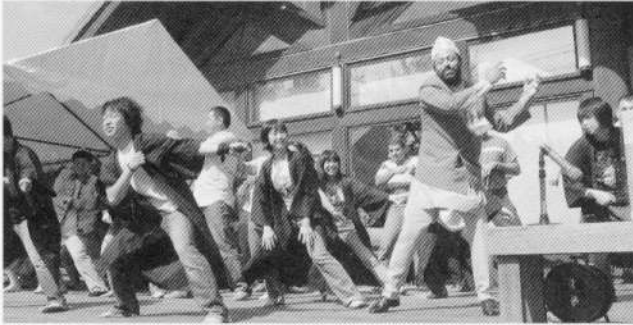
授賞式には小川会長、山田副会長が出席。緒方貞子理事長から表彰状を受領しました。

### 2006年度の主な事業

- |  |                              |
|--|------------------------------|
| 4. 2 開発教育ワーキンググループ勉強会<br>(以後毎月第1日曜日実施) | 9.24 MIFAフェスタ                |
| 4.22 JICA筑波国際センター一般公開参加                | 9.30 MIFAニューズレターNo45発行       |
| 4.30 守谷市国際交流協会理事会                      | 10. 2 JICA理事長表彰表彰式           |
| 5.10~7.12 第34回外国人のための日本語講座             | 10. 8 国際交流ひろば2006参加          |
| 5.20 国際交流ミニサッカー大会参加                    | 12. 2・3 筑波大学留学生ホームステイ受け入れ    |
| 5.28 2006年度守谷市国際交流協会総会                 | 12. 3 開発教育シンポジウム「国際化ワークショップ」 |
| 6.10 守谷市青少年海外派遣事前研修会                   | 12. 9 青年交流委員会交流会             |
| 6.10・11 JICA研修員ホームステイ                  | 12.16 イヤーエンドパーティー            |
| 8.19・20 北守谷地区夏まつり出店                    | 1.17~3.14 第36回外国人のための日本語講座   |
| 8.26・27 きらめき守谷夢彩都フェスタ2006出店            | 2. 4 講演会「グリム童話の里」            |
| 9. 3 MIFAサロン「日系ブラジル人ふじみさんのお話」          | 2.27 下野市国際交流協会視察来市           |
| 9.20~11.22 第35回外国人のための日本語講座            | 3.11 MIFAサロン「ペルー料理教室」        |
|  | 3.31 MIFAニューズレターNo46発行       |

2006年度

# MIFAフェスタ



秋恒例のMIFAフェスタが、9月24日、ログハウスを会場に行われました。

今年は30カ国から90人のJICA研修員が参加し、午前中はアサヒビール工場を見学しました。ログハウスには正午に到着し、国旗を持ったボーイスカウトに迎えられログハウスを一周。その後、日本文花を紹介する各コーナーで、琴、折り紙、書道、ちぎり絵=写真左



下=、日本舞踊、煎茶=写真右上=体験をしました。今年はテラスを会場にパフォーマンスも行われ、南中ソーラン=写真左上=が大勢のギャラリーの注目を集め、参加した外国人研修員も楽しそうに輪に加わっていました。

お天気だったため公園のあちこちで語り合う姿も見られ=写真右下=交流を深める良い機会となりました。



## 筑波大学留学生 ホームステイ



筑波大学留学生ホームステイが、12月2日～3日行なわれました。

留学生12人のうち9人が来日したばかりで、日本の生活に慣れていないのではと気になりましたが、翌日のフリータイムの過ごし方を聞いてみると、そば

打ち体験やてんぶらを揚げたり、東京見物、中にはごみ拾いを体験させたりと楽しく過ごしたようです。

初日、市役所和室とログハウスで行われた対面式には留学生12人、受け入れ家庭32人をあわせ70人が集まり、着物の着付け体験では、着物に着替えた留学生が別人のようになりました。本人たちも大満足で、投扇興も日本の伝統遊技を体験できたと大喜びでした。

今回の受け入れ家庭のうち5家庭は初体験でしたが、次回も受け入れてくださると話されています。

今年度のホームステイ受け入れは終わりましたが、19年度にも筑波大学留学生やJICA研修員の受け入れを計画しています。この次はあなたも応募しませんか。

## 外国人のための ボランティア日本語講座



今年度3回目となる「第36回外国人のためのボランティア日本語講座」が、1月17日から3月14日まで行なわれました。今回は講師15人、受講生15人で、いつもより少人数の講座となりましたが、受講生は一日も早い上達を願い、熱心に通いました。

修了生（講座回数の8割以上の出席者）は7人でしたが、最終日には一人ずつ修了証を手渡され、その後、自己紹介や日本での体験など修得した日本語での発表会が行なわれました。懇親会では、「次回の開催が待ち遠しい」という声が、皆から上がっていました。

## 世界を知るシリーズ ドイツ編 グリム童話の里

2月4日、ログハウスで「世界を知るシリーズ ドイツ編～グリム童話の里～」が行われました。

講師は、守谷市国際交流員のリヒター・アドリアネさんで、日本で翻訳されているグリム童話と本当の物語の違いや童話ができるまで、グリム兄弟について、童話に出てくる街の紹介などのお話を伺いました。



交流会で出された上=シュトーレン、下=バタークッキー

講演後に行われた交流会でもさまざまな角度からドイツを紹介していただきました。

交流会では、日本であまり馴染みがないシュトーレンも出されました。これはブランデーなどに浸したドライフルーツをたっぷりのバターと一緒に練り込んで焼いた細長いパンで、かなり重く日持ちもします。パンというよりケーキに近く、ドイツではクリスマスといえどケーキではなくシュトーレンであると言えるほど一般的といったお話も伺え、姉妹都市のある国、ドイツの一面を知るいい機会となった一日でした。



## 開発教育 シンポジウム



12月3日、ログハウスで、開発教育協会の西あいさんを講師に、「国際化ワークショップ」が行われました。

昨年、田中治彦立教大教授をお招きして行われたワークショップの続編的な勉強会で、今回のテーマは、「ひょうたん島問題」。守谷市に外国人の数が増えている現状を加味し、移民や外国人労働者が増えつつある現代社会の課題を多文化共生の観点から体験的に理解することを目的に開発された参加体験型の講座の一つです。「あいさつ」をテーマとしたワークショップは、異文化交流を考える第一歩として言葉の違いを取り上げた内容で、「かちこち人」「ひょうたん島人」「パラダイス人」に分かれた受講生が、「あいさつ」というもっとも基本的なコミュニケーションにおいても違いが生ずることが理解できる内容です。

「教育」をテーマとしたワークショップではパラダイス人学校を作ることに対して、異なる人種・立場に

よって受講生がさまざまな立場の視点に立ち議論することで、人種・立場によって考え方がどのように異なるか、また、相手の文化を尊重したうえで、最終的にどのような選択を行うべきかを体験的に学習することができました。

受講生からは、「相手もそれぞれの事情があり、理由があって主張していることを理解する」「少数派のつらさがわかった」といった意見が寄せられました。

開発教育ワーキンググループでは、プロジェクトメンバーを募集しています。申し込みはメールで、[mifa@fereai.or.jp](mailto:mifa@fereai.or.jp)へ



## 下野市国際交流会が来市



2月27日、下野市国際交流協会が来市しました。下野市は平成18年、旧石橋町など3町が合併してできた新しい市です。

平成13年7月に旧石橋町国際交流協会時代にも一度視察に来られ、翌年、MIFAが旧石橋町を訪れています。今回は、MIFAの活動を写真で紹介し、その後質問に答える形で相互の活動内容を紹介しあい、旧交を温めました。



# イヤ-エンドパーティー

12月16日、ログハウスで73人が集まりイヤ-エンドパーティーが行われました。

このパーティーは会員相互の親睦と地域の外国人との交流を目的として行われたものです。



今回はアトラクションとして全員参加のゲームをはじめ、ピアノ演奏、ネパール伝統の楽器演奏と歌の披露やギター演奏があり、どれも素晴らしく心に残

るものとなりました。

また、会員手作りの7種類のケーキや国際交流員のリッヒターさ



んからは温かいドイツの飲み物の差し入れ=写真左下=があり、列ができるほど好評でした。

今回初めて、MIFAの一年の活動を振り返るコーナーも設けられ、2006年に行われたさまざまな活動を思い出しながら、会員同士、地域の外国人とも弾んだ会話があちらこちらで交わされ、一年を締めくくる楽しい催しとなりました。

## 青年交流委員会 交流会



12月9日、青年交流委員会交流会がログハウスで行われました。予定していた人数より、集まりは悪かったのですが、集まった8人で自己紹介をし、トランプのチーム戦を行ったりと盛り上がりました。

来年度の活動につながる催し物になったと思います。

## MIFAの会員になりませんか

守谷市国際交流協会は、平成元年に誕生しました。市民による市民のための国際交流を目指し、会員はボランティアで企画・運営を行なっています。

本号には2006年度下半期の事業を載せましたが、このほかにもMIFAコンサート、大使講演会、語学研修、また、今回は記事が間に合いませんでしたが、3月31日には来市したマインブルク市民との市民交流も行ないました。もちろん、もう一つの姉妹都市であるグリーリー市民とも交流活動を行なっていま

## MIFAサロン ペルー料理に舌鼓



3月11日、MIFAサロン「ペルー料理教室」が、講師に荒川ルーデスさんを招き北守谷公民館で開かれ、「カウサ（ジャガイモサラダ）」と「パステルdeカルネ（肉包みパイ）」を作りました。出来上がった料理をペルー独特のチチャモラーダ（紫とうもろこしのジュース）を飲みながら、美味しくいただきました。

す。

茨城県（国際交流協会）主催事業や、筑波大学主催事業、そのほかJICAをはじめ国際交流を行なっている諸団体の活動に参加したり、他市の国際交流団体を視察したり、訪問を受けることもあります。

国際交流に興味があり、活動を手伝ってくれる人なら誰でも加入できます。行事に参加するだけでなく、企画・運営から参加することもできます。

加入を希望される方はリーフレット、加入申込書をお送りしますので、協会事務局（市役所くらしの支援課）までお申し込みください。